

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 子どもの健康と安全 ナンバリング：2314	保育士資格取得のための 必修科目	単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名：竹内麻貴 担当形態：単独
系 列	保育の内容・方法に関する科目		
教科目	子どもの健康と安全		
授業の到達目標及びテーマ 1. 子どもの体調不良等に対する適切な対応について具体的に理解する。 2. 関連するガイドラインや近年のデータを踏まえ、保育における衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策について具体的に理解する。 3. 子どもの健康や安全の管理に関わる、組織的な取組や保健活動の計画・評価等についても理解する。			
授業の概要 保健的な観点に基づく環境整備や心身の健康・安全管理の実施体制など、実践的な力を習得する科目である。アレルギー対応、感染症対策、事故防止、事故発生時の対応などについて、関連するガイドラインや近年のデータに基づいて具体的に理解していく。子どもの健康や安全の管理に関わる、組織的な取組や保健活動の計画・評価等についても理解する。			
授業計画 第1回：保育的視点を踏まえた保育環境及び援助 第2回：子どもに関する個別対応と集団全体の健康及び安全管理 第3回：保育における健康及び安全の管理 衛生管理 第4回：事故防止及び安全管理・危機管理・災害対策① 第5回：事故防止及び安全管理・危機管理・災害対策② 第6回：子どもの体調不良等に対する適切な対応と応急処置 第7回：子どもの障害が発生した場合の適切な対応と応急処置 第8回：救急処置及び救急蘇生法① 第9回：救急処置及び救急蘇生法② 第10回：感染症対策 集団発生の予防 第11回：感染症対策 発症時と罹患後の対応 第12回：健康及び安全管理の実施体勢 第13回：職員間の連携と協働、組織的取組 第14回：母子保健、地域保健、家庭、専門機関、自治体等との連携 第15回：まとめ 定期試験：筆記試験		授業時間外の学習 予習は、あらかじめ教科書を読んでおく。また実習や身近に乳幼児がいる場合は手順等を確認しておく。 復習は、ポイントをまとめ、演習でうまく出来なかった内容を人形などで再度行うなどふり返っておく。 乳幼児に関する保健や事故に関する報道に意識的に目を向け、把握するよう心掛ける。またそれに対して自分なりに考える習慣を身に付ける。 課題は真剣に取り組む提出期限をまもる。 標準学修時間の目安：演習手順や講義内容の予習、復習、宿題を含めて60分以上が望ましい。	
授業の方法 講義・実技演習・リアクションペーパー・グループワーク。学生の疑問・質問にはリアクションペーパーも活用し、内容によって個人または全員にフィードバックしてゆく。			
テキスト 新基本保育シリーズ⑩「子どもの健康と安全」 児童育成協会 監修 中央法規			
参考書・参考資料等 「子どもの保健」教科書 「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」「2018年改訂版保育所における感染症対策ガイドライン」厚生労働省 「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」内閣府・文部科学省			
学生に対する評価 定期試験 (70%) 課題提出 (20%) 演習・受講態度 (10%)			
履修上の注意 講義・演習ともに積極的、主体的な姿勢で取り組むことが大切。危機管理などは予測・推測が重要になるので多角的に考える姿勢が必要である。			
実務経験の有無	有	実務経験	国立医療センター、小児クリニック看護師業務、母子支援NPO
実務経験を活かした教育内容 看護師、母子支援の経験や、野外幼児キャンプ引率の経験を活かし、現場で活かせる知識や手技を習得できるよう、わかりやすい授業や演習を行う。			